卒業生アンケート結果報告

回答人数84 人
（一部未回答あり）

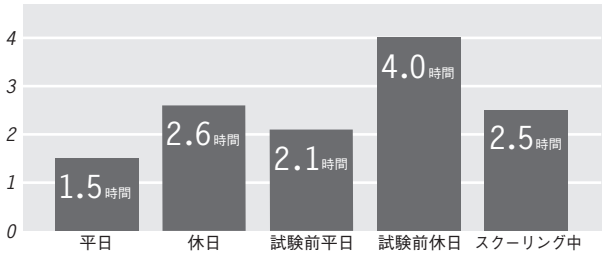
今年度9月に卒業した大学、短大のみなさんを対象にアンケートを行いました。日頃の学習時間や、普段の学習場所、スクーリング時の宿泊場所、職場や家族の協力等についてお答えいただきました。

本誌ではその一部をご紹介します。同じ通信教育に取組んでいた方々の学習状況を、参考にしてみてください。

学習時間について

毎日習慣的に学習をされる方が多いようです。試験の予定がない平日は1時間から2時間が最多で、スクーリング中の平均は2.5時間でした。

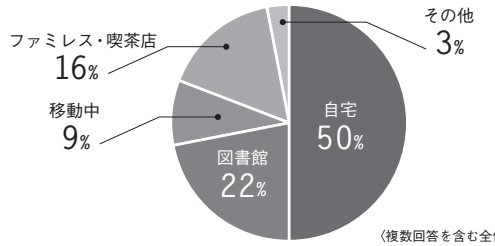
日常生活とのバランスを考慮した上の、効率的な学習が理想といえるでしょう。



学習場所について

自宅、図書館、店（喫茶店等）、移動中、その他の5ヶ所で割合を教えていただきました。

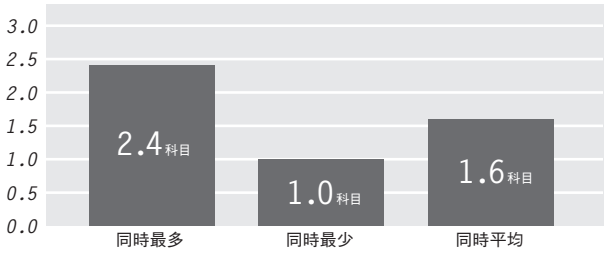
自宅が占める割合は半数で、図書館が22%、移動中が9%、喫茶店等が16%程度でした。家を中心に時間によって使い分ける方も多いようです。



〈複数回答を含む全体に対する割合〉

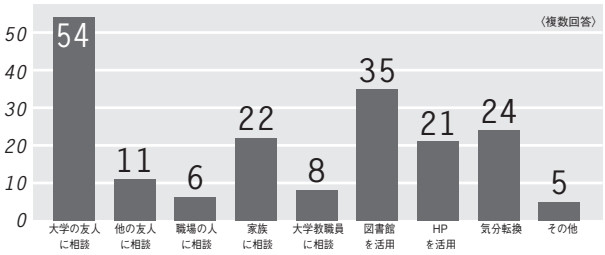
同時進行は何科目？

どのくらいの科目数を同時に学習していましたか？という質問をしました。「最多」ではスクーリングにあわせて集中的に取組む方が多く、少なくとも1科目は進めているという方がほとんどでした。同時に進めながら、目標に近づくことが、卒業への第一歩です。



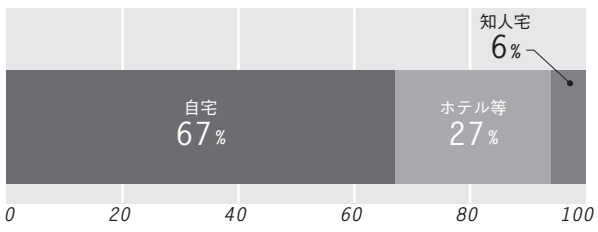
学習に行き詰まったときは？

普段学習で行き詰まったときはどのように解決していますか？という問いにほとんどの人がまわりの人に相談すると答えました。その他、図書館やインターネットを利用して解決の糸口を探す方や、一時的に別のことをして気分転換をするなどさまざまな方法で乗り越えていたようです。



スクーリング時の宿泊場所

スクーリングは、松戸の立地が都内からも近いという理由で、自宅から通うという方が67%。宿泊施設に泊まることで、気分転換とやる気につながるという声も多く聞かれました。



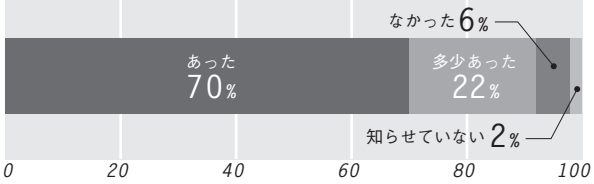
卒業生の声　職場や家族の協力は？

●こどもが小さいので、スクーリングや試験の時は、実家の両親にこどもをみていてもらいました。家族の協力なしでは私は卒業できませんでした。

心理学科　30代 女性（千葉県在住）

●スクーリング期間、仕事の休みをもらえたことは助かりました。

保育科　30代 女性（広島県在住）



卒業生の声 学習を進めるにあたって苦労したエピソード・アドバイス

レポートや試験の不合格の通知や、スクーリング中に心が折れそうになることが何度もありました。誰にも頼らず、自分一人の力で勉強し、卒業したいと思っていましたが、沢山の人達の支えと助けがあったからこそここまで来れたと思っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、恩返しを沢山していこうと思っています。悩んだりした時には、自分一人で抱え込まずに、周りの人達に助けを求めてください。スクーリングで沢山の人と出会い、情報交換や励まし合ったりすることで、最後まであきらめずに自分の夢に向かって進んでいってください。辛いことも沢山ありましたが、今思えばとても楽しく充実した日々でした。今ではまた新しい目標ができ、勉強の楽しさを実感する毎日です。

日本文化学科　女性（栃木県在住）

幼児期の子育てとの両立で、子供を預けて勉強している時や一緒に過ごしていてもレポートの事を気にかけている自分に罪悪感を感じてしまう時もありました。小学生になった今、自ら進んで勉強している姿や、社会に関心を持つ姿を見ていると、歩んできた道が無駄ではなかったのかな…と、報われる思いです。

社会福祉学科　女性（神奈川県在住）

レポートで行き詰まった時は図書館を利用していろいろな資料を探しました。聖徳大学の図書館だけでなく近所の図書館も大いに利用するといいと思います。ピアノはとにかく練習あるのみです。ひたすら練習して暗譜することが大事だと思います。

児童学科　女性（栃木県在住）

スクーリングで出来た仲間が一番の理解者だと思います。スクーリングの場を学習だけでなく仲間を作る場だと思ったほうがいいかもしれません。自分自身も聖徳大学の友人がいなかったら卒業はなかったと思います。自分が行き詰まっているところは、仲間も行き詰まっているところです。一緒に協力して学習すれば、解決することもあります。自分の継続はもちろん必要ですが、頼れる仲間を作ることが卒業への近道だと思います。

英米文化学科　男性（埼玉県在住）

仕事との両立が大変で、なかなかはかどらないときがありました。しかし友人からのはげまし、学校の友人のアドバイスで、「絶対やればできる。」といいきかせました。計画性をしっかりとして、わからないことはわからないままにせず、その日に解決するようにすることが大切です。受講の展開を読むことも大事なことです。

心理学科　男性（東京都在住）

通信教育なので、常に目標に向けて計画し、計画したことは、着実にこなすようにしました。何月何日までに、どの科目を提出するのか、そしていつ科目終了試験を受けるのかを計画して書き出し、その決めた日までに必ず間に合わせることで、レポートがたまってしまわないように気をつけました。

心理学科　女性（埼玉県在住）

心理学の教科書は、用語がわからないと、サッパリ意味がわからず、４年になってようやく、わかりやすい辞典を見つけ、知識と相まって理解が急速に進みました。図書館（聖徳の）は、充実しているので、活用して欲しいです。

心理学科　女性（千葉県在住）

レポートの書き始めはなかなか進まず、しかし書き始めると1600字ではおさまらないことも多いです。繰り返し教科書や資料を読んだり、レポートを仕上げた次の日に読みかえし修正したりと、随分と日にちは長くかかってしまいました。そういう時は自分の目標がかなった時の事をイメージすると頑張れました。

社会福祉学科　女性（神奈川県在住）

卒業生の声 学習を進めるにあたって苦労したエピソード・アドバイス

最初はレポートを仕上げるのもやっとでしたが、学習をすすめていくうちに、学習していることが関連づいているので、レポートもすすむようになりました。やはり、スクーリングで友人となり、その友人とのメールのやりとりなどで、やる気がでました。何度かあきらめかけましたが、卒業することができ、今はあきらめないで良かったと思っています。

児童学科　女性（群馬県在住）

スクーリングで１人でも多くの友人を作ることが、学習を進めていく上で重要であることに気づきました。支えになることはもちろんのこと、スクーリングで出会った友人達と学習の進捗状況を話し合うと、良い意味での“焦り”が出て、自分の立ち位置が分かりました。「周りを見る」ことも、学習を進める過程において大切でした。

社会福祉学科　女性（栃木県在住）

最初の頃は、論文の書き方がよくわかっていないため、大変でした。採点してくださった先生方にもご苦労をおかけした感じになってしまい申しわけなく思います。苦手な科目は、レポートも試験も何度か受けることになりますがそれは自分の身につくことなので、苦しくてもあきらめずに進めること。そしてわからないことは、先生に質問票を提出しアドバイスを受けることをおすすめします。あきらめなければ、必ず卒業できると信じて頑張ってください。

心理学科　女性（東京都在住）

とにかく、あきらめない事です。私はくじけそうになった時、自分の数年後どうなるか、どうなりたいかを考えて勉強を続けました。資格は、一生ものです。

保育科　女性（埼玉県在住）

あきらめたくなることは沢山あると思いますが必ず苦労した後の合格は何倍もの喜びと自信につながります。一人で悩まず、友人を沢山作って、学校や事務局にも相談や質問票を出して合格に向けて前に進んでください。科目終了試験の勉強は本番と同じように、自分なりにノートにまとめて、あいた時間にこまめに見ると良いと思います。

保育科　女性（千葉県在住）

本当に、毎日、時間があっという間に過ぎていきます。「計画的に学習をしましょう」よく耳にする言葉ですが、本当にやらないと、ただ歳をとるばかり、目標を決めて「今日は絶対にこの科目をやる！」とやっていかないと、本当に大変でした。“卒業”という目標に向かって諦めずに取り組んで欲しいと心から応援しています。

保育科　女性（茨城県在住）

難かしそう、大変そうと考えすぎては、何にも進まないので、とにかく沢山の文献を読むことです。そうすれば難かしい内容でも文献どうしが補い合ってくれるので少しずつ分かってくるはずです。

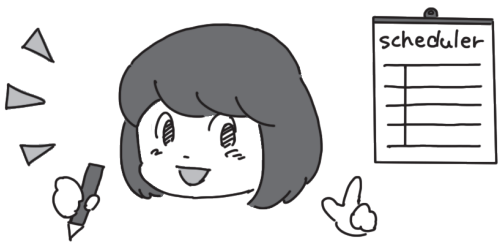
保育科　女性（神奈川県在住）

難しそうな課題や、ちょっと取っつきにくそうな課題でも、とりあえず、取りかかってみると、意外とすんなりできたりするものです。とにかく、まず手を付けてみるといいです。

保育科　女性（東京都在住）

まずは自分の興味の持てる教科・取り組みやすそうな教科から始めていくといいと思います。科目終了試験は、なるべく関連のある科目を一緒に勉強すると覚えやすいと思います。

保育科　女性（神奈川県在住）

レポートを書く際に、本を読んでもイメージが湧かない時、スクーリングで仲良くなった友人に相談して、アドバイスをもらえたのはとても助かりました。また、ピアノがなかなか上手に弾くことが出来ずに、きつかったが、自分を信じてあきらめず練習することにより、努力が報われました。

保育科　男性（神奈川県在住）